

おサイフケータイの利用



おサイフケータイ対応 i アプリのダウンロード

お買い上げ時は「iD 設定アプリ」「DCMXクレジットアプリ」「モバイルSuica登録用iアプリ」「マクドナルド トクするアプリ」が登録されています。他のおサイフケータイ対応 i アプリを使うときには、次の操作でサイトに接続してダウンロードしてください。

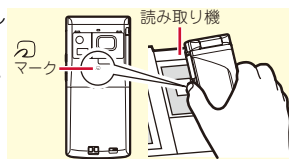
1 **MENU** ▶ ***** おサイフケータイ ▶ **8** i モードで探す

サービスの初期設定

1 **MENU** ▶ ***** おサイフケータイ ▶ **1** ICカード一覧 ▶ おサイフケータイ対応 i アプリを選択 ▶ 画面の指示に従って設定

おサイフケータイの利用

円マークを読み取り機にかざします。このとき、おサイフケータイ対応 i アプリを起動する必要はありません。



おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができる機能です。さらに通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認することができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。詳細は『ご利用ガイドブック（i モード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

 Information

- ICカード機能を使用できないようにすることができます。⇒P41
- 機種変更や故障修理時などでおサイフケータイをお取り替えになる際、ICカード内のデータを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができます。【**📍**iCお引っこしサービス】
- おサイフケータイでは、読み取り機やサイトなどからクーポン券などの電子カード【**📍**トルカ】を取得することができます。取得したトルカは、メールや赤外線通信などで他のFOMA端末と交換することもできます。

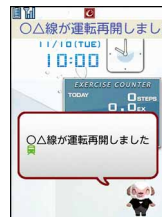
i コンシェルの利用

i コンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）がお客様の生活をサポートするサービスです。お客様からお住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳などをお預かりして、お客様の生活エリアや居場所、趣味趣向にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。また、FOMA端末内のスケジュールやトルカなどを自動更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりします。

- i コンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには i モードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスの契約のないお客様が i コンシェルにご契約になると、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたこととなります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- i コンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要です。海外でご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります（国内での通信料とは異なります）。
- コンテンツによっては、i コンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- i スケジュール・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（i モード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

インフォメーション受信と詳細表示

インフォメーションは自動で送られてきます。インフォメーションを受信すると右の画面が表示されます。



（インフォメーション受信画面）

- 1 **[MENU]** ▶ **[#]** i コンシェル ▶ **インフォメーションを選択**
インフォメーションにスケジュールやトルカの添付、サイトへのリンク項目がある場合は、アイコンを選択すると内容を確認できます。

海外での利用（お買い上げ時：利用しない）

- 1 **[MENU]** ▶ **[#]** i コンシェル
- 2 **[MENU]** ▶ 「設定」 ▶ 「基本設定」 ▶ 「プロフィール設定／海外利用設定」 ▶ 「海外利用設定」 ▶ 設定を変更

Information

- i コンシェルのインフォメーション受信時に、待受画面や背面ディスプレイに表示するかどうかを設定できます。【**Q**インフォメーション表示設定】


スケジュール帳

FOMA端末でスケジュールを管理することができます。

スケジュールの登録


1  MENU ▶ 1 新規作成

右の画面が表示されます。


2  で新規作成画面、スケジュール連絡先画面、アラーム設定画面、その他の設定画面に切り替えながら各項目を設定3  [登録]

〈スケジュール新規作成画面〉


Point

待受画面からの簡単な登録（クイックスケジュール）：待受画面で日付を入力（11月25日10時0分の場合、「11251000」）▶  ▶ スケジュールの登録

スケジュールの確認

1  ▶ スケジュールの登録日を選択 ▶ スケジュールを選択

Information


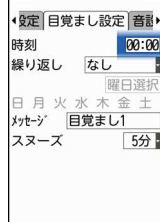
- スケジュール帳には、i コンシェルからダウンロードした i スケジュールや電話帳に登録した誕生日などを表示できる「ノーマル」と、カレンダー画面のスクロール動作や拡大表示を変更できる「クラシック」という2つのタイプがあります。【 スケジュール帳 ▶ スケジュール帳表示設定】

目覚まし

指定した時刻に目覚ましを鳴らします。目覚ましが鳴った後にワンセグが起動するように設定することもできます。





1  (1秒以上) ▶ 1 ~ 7 のいずれかを選択

右の画面が表示されます。


2  で目覚まし設定画面、音設定画面、ワンセグ設定画面、その他設定画面に切り替えながら各項目を設定3  [登録]

〈目覚まし設定画面〉

Point

- 目覚まし設定画面の「繰り返し」を「曜日指定」にすると、特定の曜日に目覚ましを鳴らすことができます。「スヌーズ」には30分間での鳴動間隔を指定します。
- ワンセグ設定画面の「ワンセグ利用」を「する」にすると、目覚まし終了時または停止時にワンセグが起動し（目覚ましワンセグ）、「オフタイマー」に指定した時間経過後に終了します。
- 目覚ましが鳴っているときには、約1分間何も操作しない、 と  と  以外のキーを押す、タッチ操作、ダブルタップのいずれかで、目覚ましを停止またはスヌーズ動作になります。 を押すと終了します。

Information

- 電源を切っても目覚ましの時刻に電源が入るように設定することができます。【 アラーム自動電源ON設定】

バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード、CODE128コードの情報を読み取って利用することができます。

1 [MENU] ▶ 6 LifeKit ▶ 1 バーコードリーダー

2 カメラをコードに合わせる

コードの読み取りが完了すると確認音が鳴ってデータが表示されます。読み取り後の画面から、サブメニューでコピーや保存の操作をします。データによっては、その画面から電話帳への登録やメール作成、サイトやホームページへの接続などができます。



〈読み取り中画面〉

Point

- 大きなサイズのコードを読み取るときは、**[H]**を押して接写撮影をOFFに切り替えてください。また、**[Q]**を押してズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などによって、読み取れない場合があります。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節やオートフォーカスの利用により、読み取れることがあります。

待受ショートカット

よく使う機能やフォルダ、ファイルなどをアイコンとして待受画面に貼り付けます（ショートカット）。ショートカットを選択するとすぐに起動できます。

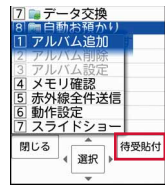
〈例〉機能のショートカットを貼り付ける

1 [カメラアイコン] ▶ ショートカットにカーソル ▶ [MENU] ▶ [カメラアイコン] [追加] ▶ 機能にカーソル ▶ [カメラアイコン] [待受貼付]

〈例〉マイピクチャのフォルダのショートカットを貼り付ける

1 [MENU] ▶ 5 データBOX ▶ 1 マイピクチャ ▶ フォルダにカーソル ▶ [MENU]

カーソルを合わせてサブメニューを表示させたときガイド表示領域に「待受貼付」と表示されるフォルダやファイルは、待受ショートカットに設定することができます。



待受ショートカットに設定できる場合に「待受貼付」が表示

2 [カメラアイコン] [待受貼付]

Point

- ショートカットの順番やアイコン、タイトルは、待受ショートカット一覧画面のサブメニュー操作で変更することができます。

Information








- 機能や電話帳を自由に選んで、自分だけのメニューを作ることができます。【**[Q]**セレクトメニュー】

クイック検索

待受画面が表示されているときや機能実行中に検索機能を利用することができます。

1 待受画面や機能実行中に で検索機能を切り替え

各検索機能での検索方法は次のとおりです。

	i モード	入力欄にキーワードを入力
	フルブラウザ	検索サービス欄を選択 ▶ 検索サービスを選択 ▶ 入力欄にキーワードを入力
	地図	ロケーションレーダーで検索：カテゴリ選択欄を選択 ▶ 1 ~ 5 (▶ 5 のときは入力欄にキーワードを入力) 地図で検索：「地図 ← ロケーションレーダー」▶ 入力欄にキーワードを入力
	使いかたガイド	入力欄にキーワードを入力
	辞典	辞典選択欄を選択 ▶ 1 ~ 3 ▶ 入力欄にキーワードを入力
	電話帳	入力欄にキーワードを入力
	メール	題名／本文で検索：メール検索選択欄を選択 ▶ 1 or 2 ▶ 入力欄にキーワードを入力 電話帳で検索：メール検索選択欄を選択 ▶ 3 or 4 ▶ 入力欄にキーワードを入力

2 「検索」

検索結果が表示されます。

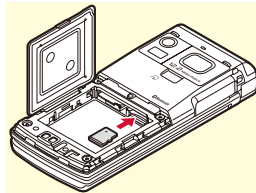
microSDカードを利用する

F-01Bは、市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2009年9月現在）。最新の動作確認情報は、FMWORLD (<http://www.fmworld.net/>) などでご確認ください。

取り付け

1 FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（右図）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む



※ microSDカードを取り外すには、microSDカードを軽く押し、飛び出させてから引き出します。

初期化

microSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください。

1 **MENU** ▶ **6** LifeKit ▶ **3** microSD ▶ **【初期化】** ▶ **完全初期化** ▶ **認証操作** ▶ 「はい」

Point

- すでに初期化済みのmicroSDカードは、「簡易初期化」によって必要最小限の処理で初期化することができます。初期化によって、microSDカード内のデータはすべて消去されます。

FOMA端末とmicroSDカード間でデータをやり取りする

FOMA端末内の大切なデータは、microSDカードに保存しましょう。

microSDカードへ移動／コピー

〈例〉画像の移動／コピー

- 1 **MENU** ▶ **5** データBOX ▶ **1** マイピクチャ ▶ フォルダを選択
- 2 データにカーソル ▶ **MENU** ▶ **5** 移動／コピー ▶ **4** microSDへ移動 or **5** microSDへコピー ▶ **1** 1件～**3** 全件 ▶ 「はい」

Point

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは移動やコピーができません。

FOMA端末へ移動／コピー

〈例〉マイドキュメントの移動／コピー

- 1 **MENU** ▶ **6** LifeKit ▶ **3** microSD ▶ **3** マイドキュメント ▶ フォルダを選択
- 2 データにカーソル ▶ **MENU** ▶ **3** 移動／コピー ▶ **1** 本体へ移動 or **2** 本体へコピー ▶ **1** 1件～**3** 全件 ▶ 「はい」

Information

- パソコンからFOMA端末内のmicroSDカードのデータを操作することができます。【**Q**USBモード設定】
- microSDカードの使用量を確認したり、他の機器で変更、追加、削除したデータを正しく認識させるためのメニューがあります。【**Q**microSDカード▷使用状況／情報更新】
- FOMA端末内の保存データをドコモのお預かりセンターに預けることができます。【**Q**ケータイデータお預かりサービス】

microSDカードのデータ表示

- 1 **MENU** ▶ **6** LifeKit ▶ **3** microSD ▶ **1** マルチメディア ▶ **9** その他 ▶ フォルダを選択 ▶ データを選択

一括バックアップ

FOMA端末の電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、設定項目データを一度にmicroSDカードにバックアップすることができます。2回目以降は上書き保存になります。

- 1 **MENU** ▶ **6** LifeKit ▶ **3** microSD ▶ **8** バックアップ／復元 ▶ **1** microSDへバックアップ
- 2 「はい」 ▶ 認証操作
電話帳が登録されていない場合、操作3は不要です。
- 3 「はい」 or 「いいえ」

Point

- 電話帳に登録されている動画、100Kバイトを超えた分のメール添付ファイルはバックアップされないなど、いくつかの制限があります。
- 操作1の最後で「**2** 本体へ復元」を選択すると、FOMA端末側の最新データは削除され、上書き保存されます。

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。Bluetooth機器の使用方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

※ すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

❖ 対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR

❖ Bluetooth機能でできること

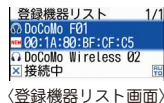
- カーナビなどのBluetooth機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリーで通話できます。また、Bluetoothヘッドセット F01（別売）などとFOMA端末をBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetooth対応オーディオ機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、音声や音楽などをワイヤレスで再生したり、リモコン操作したりできます。
- Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信ができます。
- Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth接続して、電話帳（プロフィール情報）を送受信できます。
- 他の携帯電話やBluetooth機器と接続して、i アプリで対戦ゲームをしたり、データを交換したりできます。

Bluetooth機器の登録

登録するBluetooth機器をあらかじめ登録待機状態にしてください。

- MENU** ▶ **6 LifeKit** ▶ *** Bluetooth** ▶ **3 新規機器登録** ▶ **「OK」**

Bluetooth機器がサーチされた後、右の画面が表示されます。



- 登録するBluetooth機器を選択** ▶ **Bluetoothパスキーを入力**

サービス選択画面が表示されます。続けてBluetooth接続する場合は「Bluetooth機器との接続」操作2に進みます。

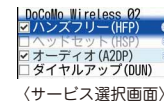
Point

- Bluetoothパスキーについては、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。FOMA端末どうして登録する場合は、双方で同じBluetoothパスキーを入力します（数字4～16桁のBluetoothパスキーを決めておいてください）。ワイヤレスイヤホンセット 02の登録時は、Bluetoothパスキーの入力は不要です。

Bluetooth機器との接続

- MENU** ▶ **6 LifeKit** ▶ *** Bluetooth** ▶ **2 登録機器リスト** ▶ **接続するBluetooth機器を選択**

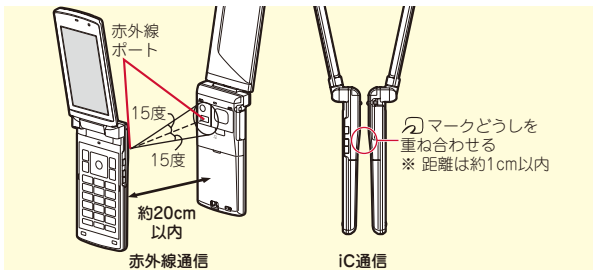
右の画面が表示されます。



- 接続するサービスを選択** ▶ **接続**

赤外線通信／iC通信

赤外線通信機能やiC通信機能が搭載されたFOMA端末などとデータの送受信ができます。相手側の赤外線ポートやマークの位置を確認し、下図を参考に通信してください。



Point

- 全件送受信の場合は、送受信側であらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておきます。赤外線の場合は、先に受信側の端末を待機状態にします。
- 全件送受信では、受信側に保存されていたデータは削除され、新しく受信したデータが保存されます。ただし、削除されない場合（「プリインストール」フォルダ内のデータなど）や保存先、フォルダ名、データの並び順などが送信側と異なる場合があります。

電話帳の1件赤外線／iC送信

- 1 送りたい電話帳にカーソル ▶ **MENU** ▶ **8** 赤外線／iC送信 ▶ **1** 赤外線送信 or **3** iC送信 ▶ 「はい」

データの全件赤外線／iC送信

- 1 **MENU** ▶ **6** LifeKit ▶ **2** 赤外線・iC・PC連携 ▶ **2** 赤外線全件送信 or **3** iC全件送信 ▶ 送信項目を選択 ▶ 認証操作 ▶ 認証パスワード入力 ▶ 「はい」

データの1件赤外線受信

- 1 **MENU** ▶ **6** LifeKit ▶ **2** 赤外線・iC・PC連携 ▶ **1** 赤外線受信 ▶ **1** 受信 ▶ 「はい」 ▶ 送信側からデータ送信 ▶ 受信後に「はい」

データの1件iC受信

- 1 送信側からデータ送信 ▶ 受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる ▶ 受信後に「はい」

データの全件赤外線受信

- 1 **MENU** ▶ **6** LifeKit ▶ **2** 赤外線・iC・PC連携 ▶ **1** 赤外線受信 ▶ **2** 全件受信 ▶ 認証操作 ▶ 認証パスワード入力 ▶ 「はい」 ▶ 送信側からデータ送信 ▶ 受信後に「はい」

データの全件iC受信

- 1 送信側からデータ送信 ▶ 受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる ▶ 認証操作 ▶ 認証パスワード入力 ▶ 再度マークを重ね合わせる ▶ 受信後に「はい」